

3) 成人市中肺炎の重症度別患者数等

成人市中肺炎（20歳以上の成人が普段の生活の中でかかる肺炎）で入院された患者さんを重症度別に集計します。

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症～超重症			

[集計の条件]

- ①入院のきっかけとなった病名および、最も医療資源を投入した病名が**菌による肺炎**の場合。
- ②インフルエンザなどのウイルスによる肺炎や、食べ物などが誤って気管に入ることによって起こる誤嚥性肺炎、気管支炎などは対象外。

重症度は重症度分類システム(A-DROP)を用いて集計します。

A(Age:年齢)	男性70歳以上、女性75歳以上
D(Dehydration:脱水)	BUN 21mg/dl以上または脱水あり
R(Respiration:呼吸)	SpO2 90%以下
O(Orientation:意識障害)	意識障害あり
P(Pressure:収縮期血圧)	血圧(収縮期)90mmHg以下

5点満点で、1項目該当につき1点として集計し、軽症～超重症の4段階で表します。

軽症	0点
中等症	1～2点
重症	3点
超重症	4～5点（ただし、ショックがあれば1項目のみでも超重症とする）
不明	重症度分類システム(A-DROP)が1つでも不明な場合